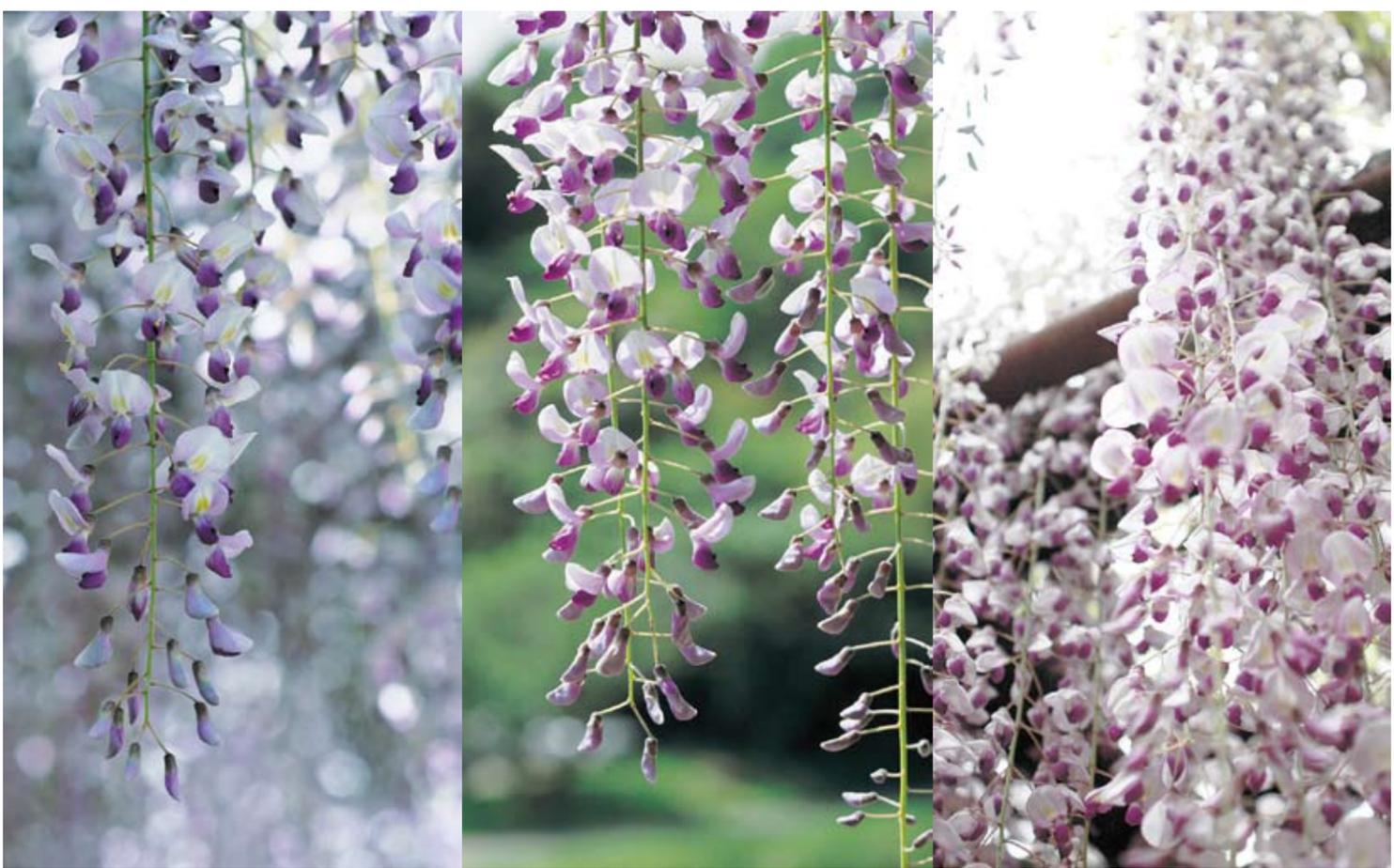


祖父の名の門柱ありし藤の寺
描かる、藤の紫匂ふかな
藤寺へ恩師の句碑に会ひたくて
提灯の湖に映りて藤ゆる、
境内に静かな人出藤の花
藤の花古刹の庭の人出かな
前通る度にまだかと藤を待つ
雪洞を灯して藤の花浄土
亡き父が曾て遊びし古寺の藤
巡る時顔にも触れて藤の花
棚の上の藤奔放に咲き乱れ

小笠原雄子
大久保幸子
桑野 園女
熊谷カツミ
久保 勝子
小場 妙子
永末 公恵
丸山 鈴子
安田 健一
吉田ひろし
池田 一步



影が伸びるとしっとりとした青みの妖艶な紫に。陽が差し込めば赤く輝いて透明感のある光を放つ。藤の花は天気、時間帯、陽の角度により趣が違い、多彩な美しさをみせる (画像はすべて迎接の藤)



日に酔ひし如き
蝶来る 初席
天留翁

定禅寺境内にある
ホトトギス同人の
白石天留翁氏句碑

藤寺投句 町内俳句教室の皆様より(順不同敬称略)

藤棚に風潜みある小揺れかな 岩井 鬼童
藤房の揺れをなだめて風消ゆる 日比生利子
藤の香に歴史の重き古刹かな 花石かほる
藤房の先細りして如来の掌 建部三由紀
藤棚の提灯湖に点りけり 松岡 薫枝
車椅子カラオケもあり藤の下 小川 雪
藤咲いて一期一会の仏意かな 家高 恭子
藤垂れて雨に甘露の香を放つ 仲谷ひろえ
山藤のむらさき匂ふ甘き風 島山 玲子

天空の雅楽に揺るる懸り藤
名も知らぬ大樹に懸る藤の花
山杉に飯の宿借り懸り藤
千のみ手ひろげて仏藤の花
大幹の抜れ藤棚支へけり
寺の藤守り守られ五百年
藤浪の甘き香りを潜りけり
万の藤支へて幹のねぢり腰
藤棚の華麗な香りくぐりけり
紫の気品が香る寺の藤
坊守の話尽きざり藤の花

山口みち子
稲樹 千代
前田 れい
許斐 成子
今井三千代
伊藤 千里
小松 清子
長副美恵子
迫田 昌子
吉村ヨシ子
千手 恭子

室町の世よりの樹齡藤の花
藤の香にセピア色の日よみがえり
酒に酔ひ藤の香に酔ふ定禅寺
藤棚の幾万垂の匂ひかな
幾星霜耐えて古刹の藤の花
たしかなる樹齡重ねて藤の花
雨含み藤波花を零しつぐ
藤祭り出店並びて婦人会
蔭座で場を藤の下なる小宴会
吹く風に紫匂ふ藤の里
藤房の揺る、長きに育ちつ、

野村 鈴子
長尾 冴子
桑野 昌宜
白石 凡子
渡邊 一枝
尾崎 和子
藤井耿之介
杉 フジエ
倉石嘉代子
石井 恵子
池田 駒女

景色が時を止める

風にたゆたう藤は、古来より愛されてきた日本の代表花。最も高貴な色とされた紫にちなみ、藤は風雅の象徴として親しまれました。古くは古事記や万葉集、枕草子などにも登場し、和歌や俳句に多く詠われています。定禅寺の「迎接の藤」もまた、多くの人がその姿に想いを抱き、心のゆらぎを詩歌に込めてきました。

かつて繁栄を誇った方城炭鉱では、佐賀県内の俳句同人に匹敵する数だったとも言われ「方城の俳句」と言えば全国的に有名だったそうです。高浜虚子の長男である高浜年尾氏も度々方城を訪れました。その名残もあり、福智町内では今も詩歌が盛んです。

祖父の名の門柱ありし藤の寺

幾世代にもわたり、それぞれの心に宿す花

ちはこのような祖父の余慶をいたたいいと思うと、涙が出ました」という小笠原さんは、身内はだれ一人知らなかったという奇遇をそのまま句に詠みました。「頑固一徹でお酒が大好きだった祖父。その後転居しましたが、お寺や藤への想いは終生忘れがたいものがあつたと聞いています。今年には藤の盛りのころ、祖父にお酒をお供えしたい」と顔をほころばせました。

毎年、迎接の藤が散つたころ、定禅寺には各地からお便りが届きます。「初めて見て感動した」という感想はもちろん「あのころを思い出した」「本当になつかしい」と綴った便りが多く、中には「接ぎ木したい」という声もありました。大切な故郷の



小笠原 雄子 さん(上野)
定禅寺で見つけた祖父の名を詠んだ

一風景である迎接の藤。この町を後にした人にとって、その思いは望郷の念を重ね、いつそう強くなります。時を封じる紫の花は、これまでどれほどの人の想いを受け止めてきたのでしょうか。今年も見るとの心に、あの日と同じ風を届けてくれます。

万感

込めた胸裏
想
あの日の思い出、大切な人の面影と重なる景色がある。はかなくとも美しい藤波の下で、人は万感の想いを詩歌に込めた。

藤寺の歌

藤寺の福智山麓春たけて阿弥陀にさやる紫の風
夕映の水面を染めて藤の花雪洞ともり定禅寺うるわ
藤波の花咲く下でジャンプする房にふれむと笑顔の孫は
花房にそよ吹く風の心地よく微かに揺るる藤の藤寺
マイカーを走らせ集ふ藤寺の境内花と人とで賑わふ
薫風に揺れる藤の花房に孫はふれをり抱きあげられて
頬にふれくすぐる藤の花房を掌にうけひひ愛である
藤の花かすかに肩にふれてあつ池の面を眺めるとき
広き棚に藤の茂れる寺の庭止みたる雨の雫ひかれり

岡野富司生
三村 和子
加治 智子
越智 早苗
白石 信子
福田 昌
加来スマ子
山口 倭子
佐竹喜久雄

ともしび短歌会(順不同敬称略)